

南島原の小中学校の適正規模・適正配置を通じた教育の新たな魅力創生のためのヒント

コミュニティ・スクール／義務教育学校／小中高一貫教育

2025年7月11日
南島原市役所 南有馬庁舎
(第2回) 南島原市小中学校適正規模・適正配置在り方検討委員会 副委員長
鎮西学院大学 教授／同 地域総合研究所 所長
加藤久雄

コミュニティ・スクール



第3期教育振興基本計画

文科省 総合教育政策局政策課

平成30年6月15日

目標（６）家庭・地域の教育力の向上，学校との連携・協働の推進

多様化する家庭環境に対し，地域全体で家庭教育を支える。また，地域社会との様々な関わりを通じて，子供たちが安心して活動できる居場所づくりを進め，これからの時代に必要な力や，地域への愛着や誇りを子供たちに育成する。さらに，家庭や地域と学校との連携・協働を推進する。

（測定指標）

- ・ 地域において子育ての悩みや不安を相談できる人がいる保護者の割合の改善
- ・ 地域の行事に参加している児童生徒の割合の改善

（参考指標）

- ・ 保護者や地域の人との協働による取組や活動が学校の教育水準の向上に効果があると思う学校の割合

○ 地域の教育力の向上，学校との連携・協働の推進

- ・ 地域住民や保護者等が学校運営に参画する仕組みである学校運営協議会制度を全ての公立学校において導入することを目指し，各地域における推進を担う人材の確保・育成等を通じて，コミュニティ・スクールの導入の促進及び運営の充実を図る。
- ・ 地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員の配置の促進や研修の充実及び地域学校協働本部の整備等により，全小中学校区における幅広い地域住民や地域の多様な機関・団体等の参画を通じた地域学校協働活動の全国的な推進を図る。その際，関係府省が連携し，放課後や土曜日等の学習・体験プログラムの充実や，企業等の外部人材等の活用を促進する。
- ・ 児童生徒の地域行事やボランティア活動への参加や高校生らがビジネスの手法等を学び，地域の大人とともに地域課題を解決する取組を促進する。さらに，教師の担う重要な職責に対する社会における理解醸成を進める。

「社会に開かれた教育課程」を支える制度



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進が
「社会に開かれた教育課程」の実現につながります。

○コミュニティ・スクール(学校運営協議会を置く学校)

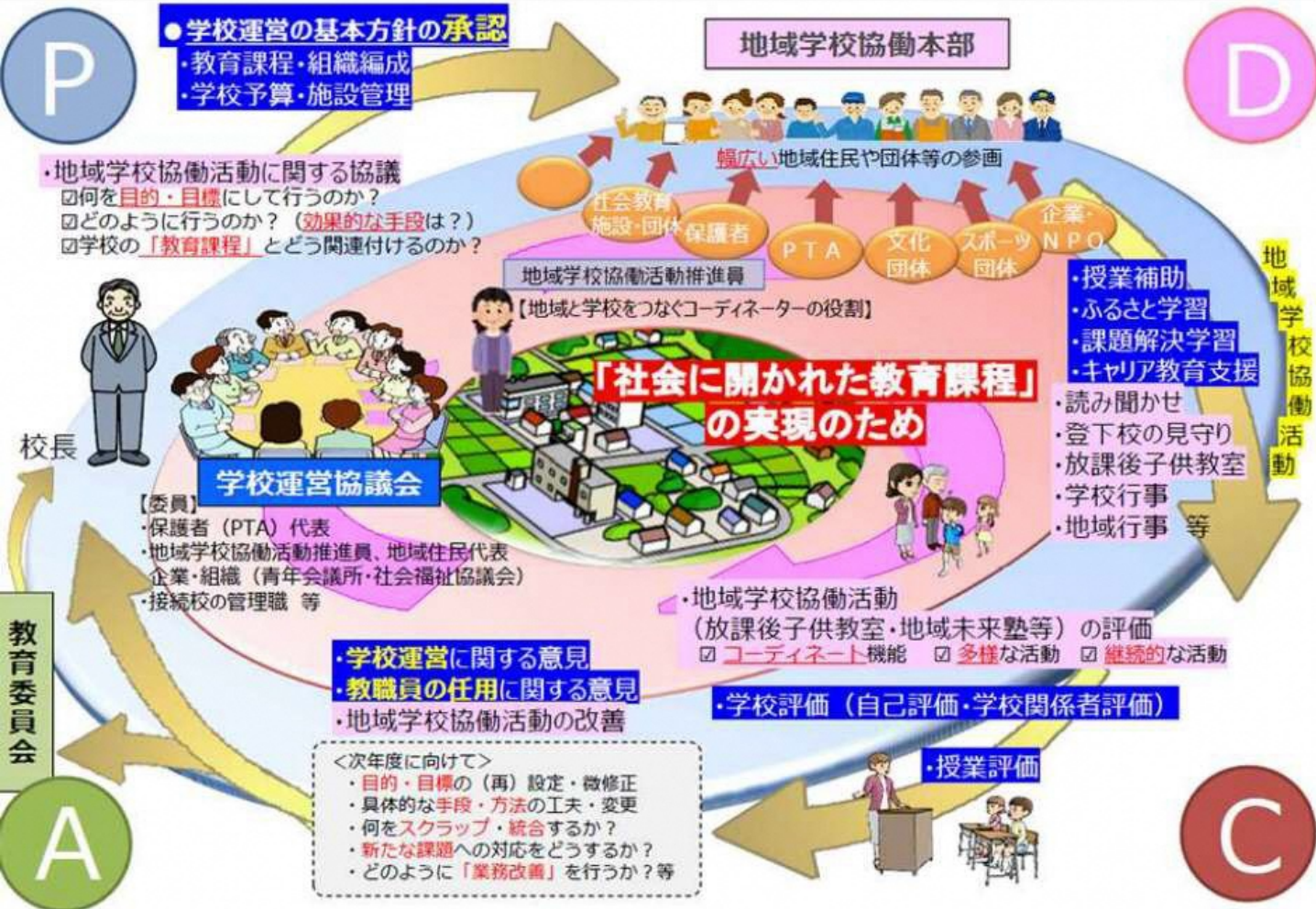
学校運営協議会とは、地域住民や保護者等が学校運営に参画し、「熟議」を通して目標やビジョンを共有することによって、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができる、法に基づく仕組み

○地域学校協働活動

地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動。教育委員会は、地域住民と学校との情報共有を行う地域学校協働活動推進員を委嘱できる

16

「社会に開かれた教育課程」の実現のためのコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進



2020年からの新学習指導要領では、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有し社会と連携・協働しながら未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」新しいウィンドウを開きますの実現を重視し、その理念を前文に明示しています。

この理念の実現に向けては、組織的・継続的に地域と学校が連携・協働していくことが大変重要といえます。具体的な取組としては、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）や地域学校協働活動の一体的推進が重要です。

文部科学省

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/_icsFiles/afieldfile/2020/01/28/20200128_mxt_kouhou02_03.pdf



Plan (計画)

学校運営協議会では、校長が作成する学校運営の基本方針の承認を通じて、学校や地域、子供たちの状況等についての必要な情報を共有します。また、子供たちや地域の未来や目の前の様々な課題について共通認識を持つために、多くの関係者による熟議の場を設定し、目標やビジョンを共有します。そして、学校と地域の協働による取組を進めるための目的・目標の設定や、効果的な手段についての協議を行います。



Do (実行)

学校運営協議会や熟議の内容を踏まえ、地域学校協働活動推進員等のコーディネートの下、多くの地域住民の参画による地域学校協働活動を展開します。学校の教育課程内で行う授業補助やふるさと学習、キャリア教育支援から、社会教育の取組である放課後子供教室や地域未来塾、本の読み聞かせ活動や登下校の見守りなど、多様な活動が考えられます。



Check (評価)

学校運営協議会が学校評価の機能を持つことで、学校の教育活動全般に対する評価に加えて、地域学校協働活動に関する評価も効果的に実施することが可能となります。教育課程に係る地域学校協働活動もあることから、それぞれの評価を切り離さず、一体的に行うことが重要です。



Action (改善)

評価の結果を踏まえ、次年度に向けて目的や目標を見直したり、具体的な活動の内容を工夫・修正します。また、新たな課題にどのように対応するかなど、学校運営協議会で協議し、学校の教育活動や地域学校協働活動の改善を行います。学校運営協議会からは、学校運営や教職員の任用について教育委員会に意見を申し出ることもできます。

こうしたPDCAサイクルを回すためには、校長の強いリーダーシップが求められます。また、学校運営協議会の機能を生かして、共通の目標を設定し、組織的・継続的な体制づくりを行うことで、それぞれが持つ力を効果的に発揮することが期待できます。

。地域と学校の連携・協働を効果的、継続的に行うためには、学校運営協議会と地域学校協働本部、地域学校協働活動の一体的な推進が求められます。

具体的には、地域と学校が、子供たちの学びの充実のために、協議し、協働し、活動後の評価をして、また次の取組につなげていくというPDCAサイクルを回していくことが重要です。

文部科学省

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/__icsFiles/afieldfile/2020/01/28/20200128_mxt_kouhou02_03.pdf

10～30代若手社員活躍

教育制度・福利厚生の充実した体制整備。詳細はこちら

①

長崎県議会 73校にコミュニティ・スクール導入 20市町で年度内見通し

長崎新聞 2021/06/26 [11:27] 公開



定例長崎県議会は25日、一般質問を続行し4人が登壇。県教委は、保護者や地域が学校経営に参画する「コミュニティ・スクール（地域運営学校）」が本年度末までに20市町の公立小中学校73校で導入される見通しを明らかにした。

千住良治議員（自民・県民会議）に平田修三教育長が答えた。

コミュニティ・スクールは学校教育の基本方針などに意見を述べる「学校運営協議会」を設置した学校。地域住民や保護者などが学校の目標を共有し、役割を明確にするため教員の働き方改革の実践も期待できる。

県教委は2018年の定例県議会で、20年度までに少なくとも各市町1校はコミュニティ・スクールを設置すると示したが、設置できたのは17市町48校。新型コロナウイルス感染拡大防止で設置に向けた会議が十分に開けなかったためという。23年度までに21市町、100校での設置を目指し、来月県庁で研修会を実施する。全ての市町学校教育課の担当者が参加する予定で、設置に至らなかった要因や、うまく進んだ背景を共有し全市町での設置促進を図る。

長崎新聞 <https://www.nagasaki-np.co.jp/kijis/?kijiid=781346386460639232>

中学校での先進事例

令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰の決定

LINEで送る

ポスト

シェア

2024年12月25日更新 [このページを印刷する](#)

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰とは

学校と地域が連携・協働し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に実施する取組のうち、その内容が他の模範と認められるものに対し、その功績をたたえ文部科学大臣が表彰するものです。

このたび、令和6年度の本県の実校が、次のとおり決定されましたのでお知らせします。

受賞校

- 佐世保市立小佐々中学校・小佐々小学校・楠栖小学校
- 大村市立玖島中学校

受賞校の取組の概要

佐世保市立小佐々中学校・小佐々小学校・楠栖小学校

小佐々中学校・小佐々小学校・楠栖小学校3校で、学校運営協議会を基盤として、学習や諸行事を通じた児童生徒の相互多彩な交流を図り、豊かな人間性を育てている。

大村市立玖島中学校

総合的な学習の時間を活用し、起業体験学習を中心とした「ふるさとキャリア教育」を実施している。

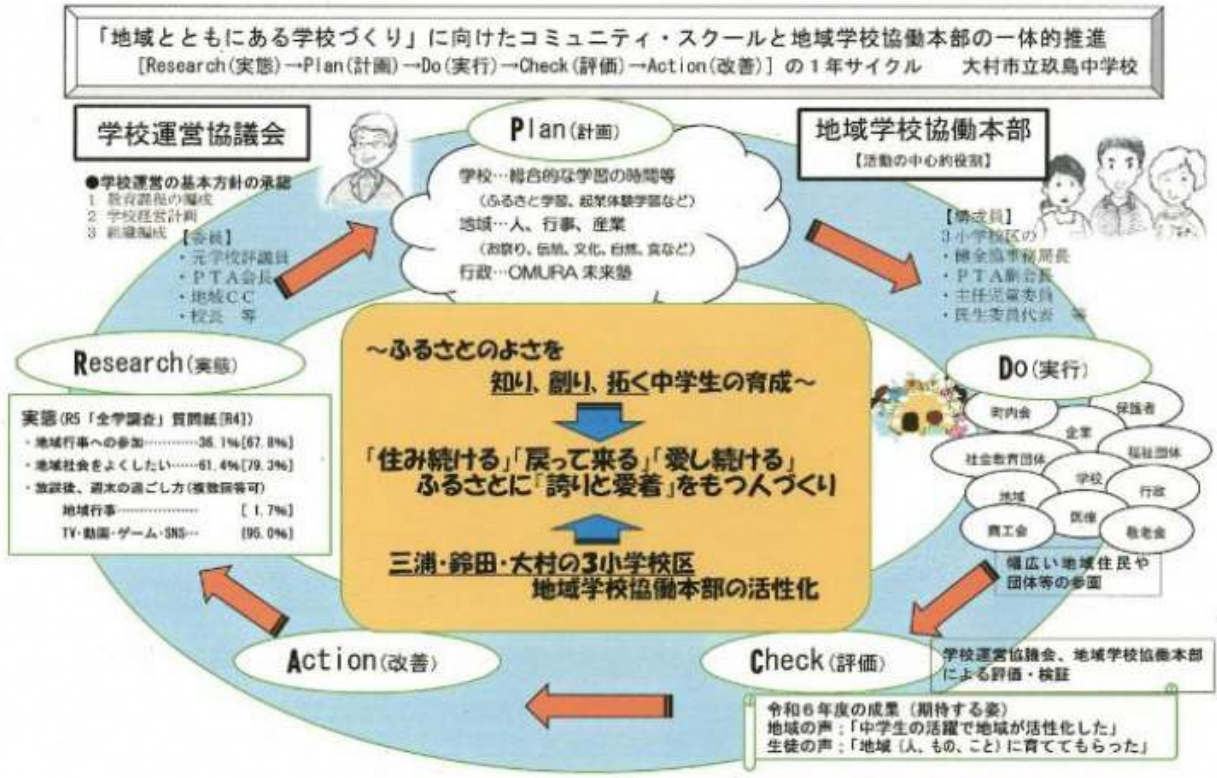
長崎県

https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kanko-kyoiku-bunka/shogaigakushu-shakaikyoiku/award_syogai/702438.html

コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールとは、「育てたい生徒像を学校・家庭・地域が共同体（コミュニティ）となり共有し、その実現を目指す学校」のことです。令和5年度に見直しをして、次のような体制や方法で推進しています。



大村市
<https://www.city.omura.nagasaki.jp/kushimatyu/kyoiku/kyoiku/shiritsumakko/naka/kushima/katsudo/komyuniti01.html>

学校運営協議会とは

学校運営や必要な支援に関して協議をする場です。（下の写真）

学校運営協議会・地域学校協働本部合同会（令和6年4月25日）

今年度の取組の様子



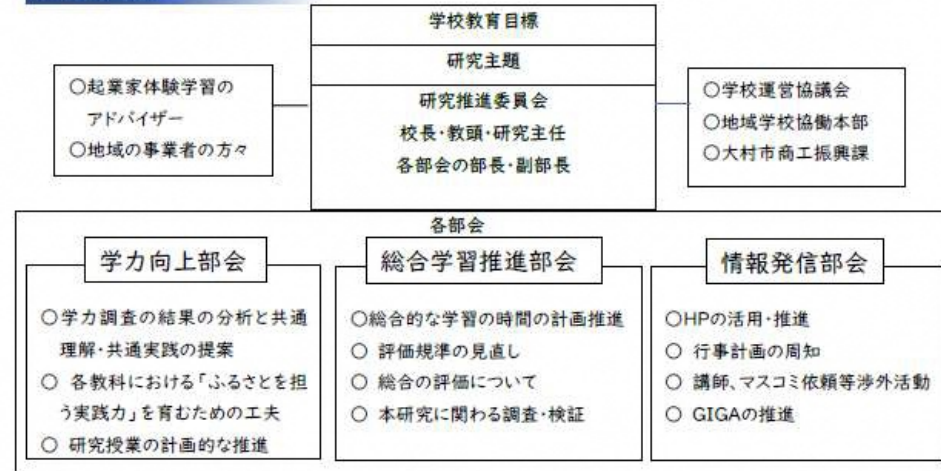
大村市

<https://www.city.omura.nagasaki.jp/kushimatyu/kyoiku/kyoiku/shirit-sugakko/naka/kushima/katsudo/komyuniti01.html>

研究構想図



研究組織



「起業家体験学習に係る総合的な学習の時間」3年間の学習内容

	第1学年	第2学年	第3学年
探究課題	郷土(ふるさと)を知る	郷土(ふるさと)を創る	郷土(ふるさと)を拓く
単元の目標	自分たちが住む地域のまち作りやそれに携わる人々について調べる活動を通して、地域の特徴やよさ、町作りに携わる人々の思いに気づき、地域との関わりの中でふるさとの良さや課題、自分たちとの関わりについて考え実践する生徒を育成する。	起業の実行に向け、地域の活性化に取り組む人や様々なアイデアを持って起業している人の思いや願いから、ふるさとの新たな価値を見いだすとともに、自分たちに何ができるかを考え、課題解決に向けた起業家的資質・能力を育成する。	地域貢献を目的とした活動に主体的、協働的に取り組む中で、よりよいふるさとの未来を創造しようとする意欲を喚起し、地域に貢献することの意味を自分との関わりの中で考えるとともに、将来それぞれの立場や場面で積極的に社会に参画しようとする生徒を育成する。
学習活動	各地域に出向いたり、地域の方々から話を聞いたりし、地域の良さや課題など現状を知る。地域の方々とのつながりをたくさん作っておく。	仲間や地域と協働して起業する。(起業家体験学習) 販売・株主総会・利益を地域に還元する方法を考える。	起業家体験学習で利益が出た場合は地域に還元するとともに、地域社会と自分との関わりや、将来の生き方について考え、行動する。

地域を知る学習

起業家体験学習

ポスト起業家体験学習

大村市
<https://www.city.omura.nagasaki.jp/kushimatyu/kyoiku/kyoiku/shiritsugakko/naka/kushima/documents/r4kousouzu.pdf>

学校教育目標			ものにする ものを言う ものに成る		ね ら い	自分たちが住む地域のまちづくりやそれに携わる人々について調べる活動をと おして、地域の特徴や良さ、町づくりに携わる人々の思いに気づき、地域と の関わりの中でふるさとの良さや課題、自分たちとの関わりについて考え協働 して課題解決に取り組もうとする生徒を育成する。		
探究課題			ふるさとのよさを知り、創り、拓く中学生			探究課題の解決をとおして育成を目指す具体的な資質・能力		
学年探究課題			ふるさとのよさを知る					
月	週	時 配	学習活動と手立て		知識 及 び 技 能	・地域には、まち作りに携わる人々の取組や、地域に暮らす思いがあることを理解する ことができる。 ・調査活動を、目的や対象に応じた適切さで実施することができる。 ・探究的に学習することが、地域の活性化につながっていることに気づくことができ る。		
			1 起業体験のための地域学習（C・Sとの関連）	2 職業調べ（C・Sとの関連）				
4	1	1	小学校で調べたふるさとのよさを振り返る。（各学級で活動）		思 考 力、 判 断 力、 表 現 力 等	課題の 設定	・地域のまち作りについて、資源を生かした取組や、携わる人の思いをとおし て感じたことをもとに課題をつくり、解決に向けて見通しをもって計画を立て ることができる。	
	2	1	小学校で調べたふるさとのよさを発表する。（各学級で活動）				情報の 収集	・地域の現状をとらえるために、必要な情報について手段を選択し、多様な方 法で収集し、種類に合わせて蓄積することができる。
5	3	1	ふるさとの祭りについて詳しく知る。（各学級で活動）			整理・ 分析		・課題解決に向けて、多様な情報を必要に応じて整理し、考えることができ る。
	4						まと め・表 現	・相手や目的に応じて、企画内容をグラフや図、写真等を使って分かりやすく まとめ、表現することができる。
6	5					学 び に 向 か う 力、 人 間 性 等		主体 性・協 働性
	6	1	オリエンテーション（1年間の学習に見通しを持つ）				自己理解・ 他者理解	
	7	1	小学校で調べてわかったふるさとの良さを考える。（地区別で活動）			地域貢献		・地域との関わりの中で自分の生き方を考え、自分にできることを見つけよう とする。
	8	1						
7	9	2	ふるさとのまつりについて詳しく知る。					
	10	1	どんな形で祭りに関わるかを考える。					
	11	1						
	12	1	夏休みの計画を立てる。					
8	13	1						
			まつりの実行委員会と打ち合わせを行う。					
	14	1						
	15	1						
9	16	1						
	17	1	祭りの準備を行う。					
	18	2						
	19	2						
10	20	1						
	21	1	各地区の祭りに参加する。					
	22	1	ふり返りを行う。					
	23	2			職業調べ・講話事前指導を行う。			
11	24	2			職業講話を行う。			
	25	2			職業調べ（情報収集）を行う。			
	26	1			職業調べ（まとめ）を行う。			
	27	2	ふるさとの良さを活かしたビジネスプランを作成する。 株式会社での仕組みを知る。					
12	28	2	各地区、グループごとにビジネスプランを考える。					
	29	3	情報収集（インタビュー）を行う。					
	30	2						
	31	2	コンペティションへ向けて準備する。					
1	32	2						
	33	3	コンペティション予選を行う。					
	34	2	予選をふり返って修正を行う。					
	35	3	コンペティション本選を行う。					
3	36	1	ふり返り（次年度へ向けて）を行う。					
	37	1						
50								

※ は、体験的な学習活動。
※ は、講師を招いての学習活動。

※ は、体験的な学習活動。
※ は、講師を招いての学習活動。

大村市
https://www.city.oura.nagasaki.jp/kushimatyu/kyoiku/kyoiku/shiritsugakko/naka/kushima/documents/sougou_kushima.pdf

玖島中学校 総合的な学習の時間



玖島中はふるさと学習に取り組んでいます！
今年度もこれからの**地域のために、中学生が当事者として**頑張ります！お力添えをお願いします。



一年生 「ふるさとを知る」～地域のまつりへの参画～

「こんな手伝いをしてほしい」「準備を手伝ってほしい」という声にこたえます！！
中学生も一緒に地域を盛り上げます！！

大小くろもんまつり
鈴田ふれあい祭り
みうら新作まつり



二年生 「ふるさとを創る」～起業体験学習～

5社の模擬会社を引き継ぎ、中学生が考案したふるさと大村をテーマにした商品や、特産品を使った商品などを開発し、くしマルシェで販売します。

得た利益はふるさと活性化のために使用します！



7/11(金)事業説明会&株主募集会(玖島中学校) 1/23(金)販売会「くしマルシェ」 2/20(金)株主総会

三年生 「ふるさとを拓く」～地域貢献学習～

R6年度は地域の公園や公民館の清掃、福祉施設でのレクリエーション企画、保育園・学童での活動を実施しました。地域の一員として、もっとお役に立ちたいと考えています！たくさんの御要望をお待ちしています！

【年3回実施予定】第1回：6/27(金)、第2回：9/19(金)、第3回：2/26(木) 27(金)

おねがい

日時など、詳しくは決まり次第チラシを作成し、今後回覧板や掲示板に掲載させていただく予定です。

ぜひ目を通していただき、御理解と御協力をよろしくお願いいたします！

地域と学校が一体となることで、子どもたちがさらに成長し、地域のつながり、校区の力が一層強くなり、今まで以上に盛り上がっていくのでは…と考えます。
よろしくお願いいたします！！

お問い合わせ先 大村市立玖島中学校

電話 53-3401 FAX 53-3402 (担当: 阿比留)

R6年度までの学習の成果を裏面に載せています！ぜひご覧ください！

R6年度までの学習の成果です！

一年生



地域の方とまつりの運営打合せ



まつり当日の様子



地域の方を講師に招いて職業講話

二年生

【R6年度まで販売した商品】

- ・大村絶景カレンダー
- ・ニボレンジャー
- ・みかんジャムパン
- ・みキャンドル
- ・みかんキーホルダー
- ・寒桜ドーナツ
- ・いちごカステラ
- ・大村魅力再発見ガチャガチャ
- ・「これいつなん？」カードゲーム
- ・大村名所はがき
- ・フルーツ輪
- ・フルーツ大福 ……など



販売した商品



【R6年度までに行った地域貢献】

(起業体験学習で得た利益を地域に還元)

- ・三浦住民センターへ絵本と本棚を寄贈
- ・三浦住民センターへブックラックを寄付
- ・千本桜公園へ桜の植樹
- ・鈴田小学校へ校旗の寄贈
- ・校区内保育園へ絵本の寄贈
- ・大村市観光コンベンション協会へ寄付(夏越まつり協賛会)
- ・大村市ふるさとづくりへ寄付



三年生



農家さんのお手伝い



公園清掃のお手伝い



高齢者の方々とレクリエーション

【R6年度 地域貢献活動先】

三浦地区…三浦保育園、共生会、ベイサイド大村、サラナ保育園、海岸清掃、鈴田の里学園
鈴田地区…鈴田こども園、鈴っ子学童クラブ、岩松駅清掃、岩松公園清掃、JA三鈴支店(農家さんのお手伝い)
大村地区…久原保育園、泉の里、伊勢町ふれあい館、かたまち保育園、上小路公園清掃、大村公園清掃、ぶらっと大村、地域包括支援センター、玖島崎キャンプ場清掃、伊勢町公園清掃、片町公民館清掃、下久原公民館清掃、大小くろもんまつり会場設営、幸町公園清掃、ひまわり保育園、徳家川内町長沙門天清掃

よろしくお願ひします

大村市
https://www.city.omura.nagasaki.jp/kushimayu/kyoiku/kyoiku/shiritsugakko/naka/kushima/documents/r7kusima_sougougakushu_leaflet.pdf



チャレンジ通信

～久原の丘から未来をつくる～

玖島中学校

総合的な学習の時間

活動報告～三浦版～

No.1

お世話になっています

今年度より、本校では総合的な学習の時間において、「郷土（ふるさと）のよさを発見し、守り、創り出す中学生の育成」を目標とし、新たな取組を始めました。これからこの活動を行うにあたり、地域の方々には、多々お世話になることと思います。そのため、少しずつではありますが、生徒の活動の様子や今後の予定をこのチャレンジ通信を通して、お知らせしていきます。地域の方々にはご迷惑おかけすることもあるかと思いますが、どうぞご協力よろしくお願いします。

《1年生の活動》 地域の魅力を知ろう

1年生は、「郷土（ふるさと）の魅力」をテーマに、ヒト・モノ・バショの視点で各地域について自分の興味のある課題を設定して、校外学習を行いました。三浦小学校地区は、今村公民館や陶房・和楽美、ヘアーサロン you、お食事あべなどで地域調査を行いました。ご協力していただきました地域の皆様に感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。



《2年生の活動》 起業への道

2年生は、6月30日に三浦地区に起業のアイデアについて相談に伺いました。みかん農家の原様や、多くの事業所の方々にご協力いただき、頂いたアイデアをもとに、起業案を改善しているところです。また、7月16日には、三浦地区振興会会長 堀口様のご協力のもと、三浦地区の高齢者とのふれあい事業や三浦の竹を使った竹細工について、丁寧なアドバイスを頂きました。今後は次年度に向けて、ふるさと活性化のための三浦地区の資源を生かして起業する予定です。今後また皆さんのアドバイスやご協力をよろしくお願いします。

《3年生の活動》 地域に向けて発信！ 地域に恩返しをしよう

3年生は、これまでお世話になった地域へ何かできることがないか考え、2つのグループに分かれて活動をしています。

〔海岸清掃コース〕10月1日（金）に三浦のさつき台地域の海岸の清掃活動を行いました。ゴミは全部で8袋になりました。

〔PRコース〕三浦の素晴らしいところを発信するため、広報誌を作成しています。出来上がった広報誌は、支所や三浦地区の各お店に置かせてもらう予定です。よかったら、是非手にとってご覧ください。この活動を行うにあたり、これまで地域の方々や各団体の方々にはたくさんご協力いただき、感謝しています。微力かもしれませんが、中学3年生からのお世話になった地域への恩返しと感じていただけたら幸いです。



★お知らせ★

10月29日（金）に3年生の活動をまとめた発表会を本校体育館にて行います。13時半からの予定です。ご都合がつかれる方は、中学生の活躍をぜひ見に来てください

大村市

<https://www.city.omura.nagasaki.jp/kushimatyu/kyoiku/kyoiku/shiritsugakko/naka/kushima/documents/omura01.pdf>

令和6年度 長崎県内研究指定校一覧【中学校】

緑色 は県の指定、黄色 は文部科学省の指定を表しています。

所在地	指定校名 (指定地域名)	領域または事業名	主題	指定年度 (令和表記)	研究発表・予定年月日	指定元
長崎市	長崎市立西泊中学校	ICT教育 (リーディングDXスクール)	「確かな学力を身につけ、主体的に学び合う生徒の育成」 ～ クロームブックとクラウド環境の効果的な活用を通して ～	5 ～ 7	発表なし (オンライン)	調整中 国
	長崎市立日見中学校 (長崎市立仁田佐古小学校)	ふるさと教育 小中高が一体となったふるさと 教育推進事業	ふるさとへの未来を担う人材の育成 ～ 表現力の育成を目指した「ふるさと」教育の展開 ～	5 ～ 6	本発表 (ふるさと 学発表会)	R6.11.20 県
	長崎市立深堀中学校	学校の活性化 (学力向上推進研究事業)	自ら課題を発見し、 将来を見据えて主体的に学ぶ生徒の育成	5 ～ 6	本発表	R6.11.22 市
	長崎市立山里中学校	ICTを活用した教育 (研究指定校事業)	Society5.0時代における持続可能な社会の創り手として 必要な資質・能力の育成 ～ 教育データを活用した「個別最適な学び」を通して ～	5 ～ 6	本発表	R6.1.17 市
	長崎市立淵中学校	人権教育 (研究指定校事業)	心の豊かさをはぐくむ、主体的に関わり合う集団づくり ～ 「集団」の中での「個」を発揮するために ～	5 ～ 6	本発表	R7.2.6 市
	長崎市立野母崎中学校	平和教育研究 (研究指定校事業)	平和を創る人材育成 ～ 対話型授業の学びを通して ～	6 ～ 6	本発表	R7.1.23 市
	長崎市立福田中学校	学校体育研究 (研究指定校事業)	生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツ ライフを実現するとともに、継続するための資質・能力を育 む保健体育科学習	6 ～ 6	発表なし	市
	長崎市立淵中学校	防災教育 (研究指定校事業)	「小学校と連携した防災教育及び学校安全教育」 ～ 防災教育を通して家庭・生徒・教職員の安全防災意識 の向上を目指して ～	6 ～ 6	発表なし	市
佐世保市	佐世保市立砥園中学校	グローバル人材の育成 (長崎県「Believe You Can」英語発 達力強化先進モデル校指定事業)	グローバルな人材の育成を目指し、そのために必要な資 質・能力の伸長を図る ～ 教科横断的な学びを生かした異文化理解と支持的風土 を土台とした発信力の育成を通して ～	5 ～ 7	本発表	R6.11.22 県
	佐世保市立江迎中学校	長崎県「令和の長崎スクール」令和 の学校文化創出プロジェクト 学校 文化創出モデル校事業	「新しいMIRAI(未来)」を生み出す学校の在り方を目 指して	6 ～ 8	本発表	R8年度 県
島原市	島原市立三会中学校 (島原市立三会小学校)	ふるさと教育 小中高が一体となったふるさと教 育推進事業	ふるさとへの魅力を、ふるさとへの思いを語る児童生徒の育成	5 ～ 6	本発表 (ふるさと 学発表会)	R6.11.22 県
	島原市立第三中学校	全教科 (研究指定校事業)	豊かな表現力を備えた生徒の育成	6 ～ 8	調整中	市
	島原市立有明中学校	全教科 (研究指定校事業)	豊かな表現力を持ち、生き生きと活動する生徒の育成	4 ～ 6	本発表	R6.11.15 市
諫早市	諫早市立明峰中学校	英語科・数学科 (長崎県「Believe You Can」英語発 達力強化先進モデル校指定事業)	グローバルな人材の育成を目指した発信力の強化	5 ～ 7	中間発表	R6.10.4 県
	諫早市立北諫早中学校	生徒指導 (研究指定校事業)	共に高め合い、全力で挑戦する魅力ある学校づくり	4 ～ 6	本発表	R6.11.6 市
	諫早市立高来中学校	学力向上 (研究指定校事業)	生徒が「わかる・できる」と感じる授業改善	5 ～ 7	中間発表	R6.10.24 市
	諫早市立長田中学校	総合的な学習の時間 (研究指定校事業)	地域とともにある学校を目指して	6 ～ 8	発表なし	市
大村市	大村市立玖島中学校 (大村市立三浦小学校) (大村市立鈴田小学校) (大村市立大村小学校)	ふるさと教育 小中高が一体となったふるさと 教育推進事業	ふるさとへのよさを知り、つくる小学生 ふるさとを創り、拓く中学生	5 ～ 6	本発表 (ふるさと 学発表会)	R7.1.24 県
	大村市立桜が原中学校	全教科 (大村市教育委員会指定)	PDCAサイクルを意識した「新たな校内研究」の提案 ～ 指導と評価の一体化を通じた確かな学力の定着 を目指して ～	4 ～ 6	本発表	R6.10.23 市

事業)	自ら課題を発見し、 将来を見据えて主体的に学ぶ生徒の育成	5 ～ 6	本発表	R6.11.22	市
	Society5.0時代における持続可能な社会の創り手として 必要な資質・能力の育成 ～ 教育データを活用した「個別最適な学び」を通して ～	5 ～ 6	本発表	R6.1.17	市
	心の豊かさをはぐくむ、主体的に関わり合う集団づくり ～ 「集団」の中での「個」を発揮するために ～	5 ～ 6	本発表	R7.2.6	市
	平和を創る人材育成 ～ 対話型授業の学びを通して ～	6 ～ 6	本発表	R7.1.23	市
	生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツ ライフを実現するとともに、継続するための資質・能力を育 む保健体育科学習	6 ～ 6	発表なし		市
	「小学校と連携した防災教育及び学校安全教育」 ～ 防災教育を通して家庭・生徒・教職員の安全防災意識 の向上を目指して ～	6 ～ 6	発表なし		市
「Can」英語発 達指定事業)	グローバルな人材の育成を目指し、そのために必要な資 質・能力の伸長を図る ～ 教科横断的な学びを生かした異文化理解と支持的風土 を土台とした発信力の育成を通して ～	5 ～ 7	本発表	R6.11.22	県
「スクール」令和 エクト 学校 指定)	「新しいMIRAI(未来)」を生み出す学校の在り方を目 指して	6 ～ 8	本発表	R8年度	県
とふるさと教	ふるさとへの魅力を、ふるさとへの思いを語る児童生徒の育成	5 ～ 6	本発表 (ふるさと 学発表会)	R6.11.22	県
	豊かな表現力を備えた生徒の育成	6 ～ 8	調整中		市
	豊かな表現力を持ち、生き生きと活動する生徒の育成	4 ～ 6	本発表	R6.11.15	市
「Can」英語発 達指定事業)	グローバルな人材の育成を目指した発信力の強化	5 ～ 7	中間発表	R6.10.4	県
	共に高め合い、全力で挑戦する魅力ある学校づくり	4 ～ 6	本発表	R6.11.6	市
	生徒が「わかる・できる」と感じる授業改善	5 ～ 7	中間発表	R6.10.24	市
	地域とともにある学校を目指して	6 ～ 8	発表なし		市
	ふるさとへのよさを知り、つくる小学生 ふるさとを創り、拓く中学生	5 ～ 6	本発表 (ふるさと 学発表会)	R7.1.24	県
	PDCAサイクルを意識した「新たな校内研究」の提案 ～ 指導と評価の一体化を通じた確かな学力の定着 を目指して ～	4 ～ 6	本発表	R6.10.23	市

	諫早市立長田中学校	総合的な学習の時間 (研究指定校事業)	地域とともにある学校を目指して	6 ～ 8	発表なし	市
大村市	大村市立玖島中学校 (大村市立三浦小学校) (大村市立鈴田小学校) (大村市立大村小学校)	ふるさと教育 小中高が一体となったふるさと 教育推進事業	ふるさとへのよさを知り、つくる小学生 ふるさとを創り、拓く中学生	5 ～ 6	本発表 (ふるさと 学発表会)	R7.1.24 県
	大村市立桜が原中学校	全教科 (大村市教育委員会指定)	PDCAサイクルを意識した「新たな校内研究」の提案 ～ 指導と評価の一体化を通じた確かな学力の定着 を目指して ～	4 ～ 6	本発表	R6.10.23 市

長崎県
<https://www.pref.nagasaki.jp/share/d/uploads/2024/08/1722567868-1.pdf>

高等学校での事例

【長崎県立松浦高等学校】地域科学科（地域社会学科）（令和4年度設置）

目的

地域社会の未来を担うリーダーの育成
～目指す資質・能力の涵養と地域活性化への貢献～

目標

- Ⅰ 生徒個々のキャリアプランに基づく進路希望の実現
Ⅱ 中学校、大学等との協働による地域活性化への貢献
Ⅲ 県内外の「地域高校」との連携等による学校活性化

育成を
目指す
資質・
能力

実施計画に基づき、次の①～⑥の資質・能力の育成を図る
Ⅰ キャリア形成力（目標の実現に向けて努力を続ける力）
①キャリア・プランニング力 ②自ら学び、行動する力
③課題分析・解決能力 ④コミュニケーション力
Ⅱ 責任言動力（⑤責任感と品性ある言動）
Ⅲ ふるさと貢献力（⑥ふるさとへの貢献意欲）

実施計画（内容・方法・体制等）
成果指標

実施内容

実施方法等

実施体制等

成果指標

計画Ⅰ

生徒の自己有能感を高める教育活動と学習評価を一体的に行うカリキュラムの研究開発

育成を目指す資質・能力を生徒が獲得するため、各教育活動の充実と学習評価（ルーブリック評価規準）の活用を一体として進める

生徒が「主役」の活動
・企画・運営等を生徒の手で
「キラリ」と光る部活動
・品性ある言動の育成

松高キャリアプランニング
・自分の将来について考え、決断し、その実現につなげる実践をすすめる

キャリアプランに応じた学び
・個に最適化した授業・学び
まつナビ・プロジェクト
・地域課題解決型学習

○キャリアプランを踏まえた、進路希望実現率（％）
※キャリアプラン策定及びその実現に向けたプロセスを併せて分析

計画Ⅱ

地域及び学校活性化を図る教育活動等への支援体制（コンソーシアム等）の構築・充実

まつナビ・プロジェクト（地域課題解決型学習）での探究活動及び地域の中学生・高校生のキャリア形成力育成を図る活動への支援の充実を図る

運営指導委員会
指導助言
活性化ミーティング
進捗管理等
プロジェクトチーム
・プロジェクト・リーダー
・コーディネーター

松浦市議会 松浦市 松浦高校 長崎県教育委員会
松浦市教育委員会
松浦市小中学校校長会
松浦市商工会議所
松浦PTA 松高同窓会
意見交換・生徒支援

コンソーシアム
エミネットスタックス（株）
長崎県立大学
長崎大学

○発表会等において、地域活性化への貢献度が高いと認められた研究プロジェクト数の割合（％）

計画Ⅲ

県内外の「地域に根ざした高校」のネットワークの構築と協働による、参加各校の活性化

目指す資質・能力の獲得に向けた生徒の意欲を高めるため、県内外の「地域における学び」を推進している高校との連携・協働研究等をすすめる

地域に密着した学び実施高校
「地域魅力化型」研究指定高校

松浦高校
参加各高校の活性化
学びのネットワーク
協働研究

特色ある学び実施高校
「地域社会学科」設置高校

○育成したい資質・能力に関するルーブリック評価規準の到達度における生徒自己評価の平均値
○県内外の連携校数

3ヶ年の実施計画

令和4年度

令和5年度

令和6年度

計画Ⅰ

各教育活動ルーブリック評価規準作成・実践・改善

キャリアプランの作成状況を踏まえたルーブリック評価規準の検証・改善、各教育活動への反映

1回生のキャリアプラン実現に向けたプロセスの検証等による総括、次年度以降の計画策定

計画Ⅱ

中高・高大職連携の推進とその効果等の検証に基づく連携体制の在り方を含む改善

前年度の検証等を踏まえた支援体制の充実と生徒の探究活動等への支援の検証・改善

地域・学校活性化に向けた、3年間の生徒支援の検証等による総括、次年度以降の計画策定

計画Ⅲ

「地域高校」ネットワークの構築・交流開始

「地域高校」ネットワーク参加校における協働活動の推進

「地域高校」ネットワークの3年間の取組の検証等による総括、次年度以降の計画策定

長崎県教育委員会

<https://www2.news.ed.jp/shared/uploads/2023/01/1672884312.pdf>

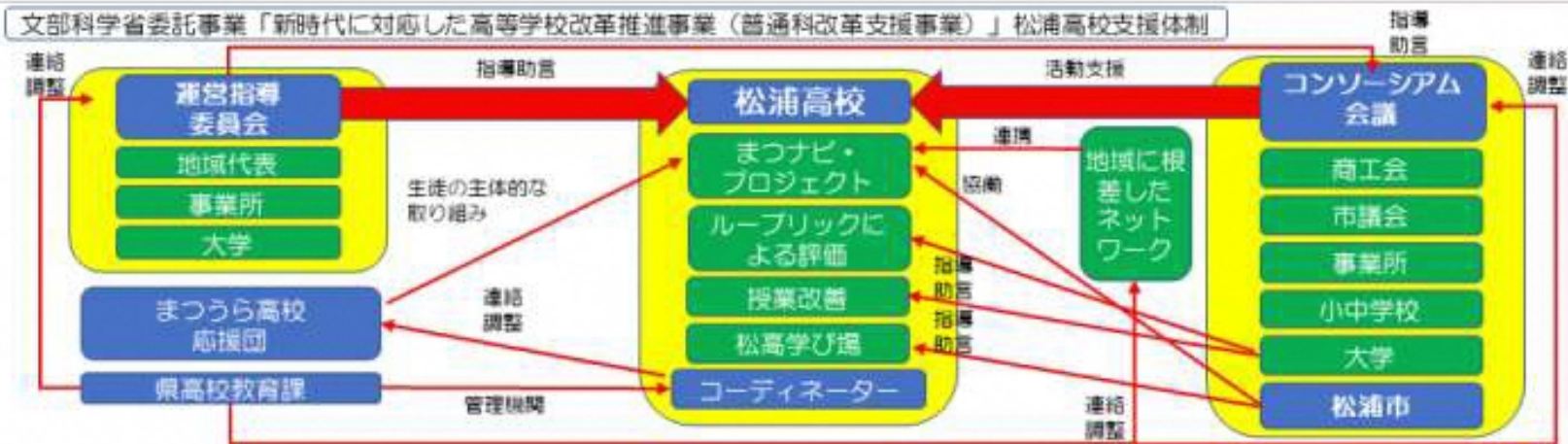
[ホーム](#)
[学校案内](#)
[学校（校種別）で探す](#)
[学校（市町別）で探す](#)
[カレンダーで探す](#)

> [長崎県立松浦高等学校のトップページへ](#)

メニュー

- 概要
- MNPだより（令和3年度）
- [地域との協働による高等学校教育改革推進事業](#)
- [新時代に対応した高等学校改革推進事業](#)
- [まつナビ日誌](#)
- その他

新時代に対応した高等学校改革推進事業



長崎県教育委員会

<https://www2.news.ed.jp/bunrui/syoukai/tokusyoku/70120matsunavi/shinjidai70120/>

MATSUURA 仕事図鑑

2022



FIREFIGHTER



NURSE



MONK



VETERINARIAN



PASTRY CHEF



BAKER



CHILD MINDER



SHINTO PRIEST



POLICE OFFICER



長崎県立松浦高等学校

〒859-4501

長崎県松浦市志佐町浦免738-1

TEL 0956-72-0142

FAX 0956-72-2896

URL <http://www2.news.ed.jp/matsuura-h/>



松高
YouTube



松高
ホームページ



松高
Instagram

長崎県立松浦高
等学校 1 年生
2022年度

カテゴリー 1 | 2024年採択

長崎県立小浜高等学校

対象者数 37名 | 助成額 90万円

<https://www2.news.ed.jp/section/obama-h/>

Program

島原半島の魅力再発見プロジェクト「本校での略称：しみプロ」 ～「小浜さらん」定期発行へ～

異世代と協力しながら地域振興を図る。異世代（中学生・大学生・地域住民）と連携して、地元長崎県の島原半島を活性化させるプランを考え、提案・実行する。そして、成果を素材として活かして観光客をメインターゲットとしたフリーペーパーを作成し、地元の魅力を発信する。

長期休業中に異世代（中学生・大学生・地域住民）とワールドカフェ形式のワークショップを実施する。その際、大学教授等の専門家に地域課題の明確化および地域活性化プランの提案・実行に向けての助言をいただく。

本校の「総合ビジネス科」では韓国語を学び、韓国と交流をしていることから、小浜高校のある小浜町の「小浜」と、韓国語の「愛＝さらん」を併せた「小浜さらん」をフリーペーパーの名称としている。地元企業等の広告を掲載し、印刷資金を提供してもらう形で、自走できるシステム作りを行う。この「企業広告」部分も、本校生徒が取材・制作を行うことで紙面の充実を図る。

生徒全員が一丸となって、「小浜さらん」の制作を行う。成果物「小浜さらん」を手にする段階で、または「小浜さらん」を手にとった周囲の大人からの声かけ等で生徒の目の色が変わることを期待する。

三菱未来財団

<https://www.mmfe.or.jp/partners/5540/>

島原半島の魅力再発見プロジェクト「本校での略称：しみプロ」 ～「小浜さらん」定期発行へ～

異世代と協力しながら地域振興を図る。異世代（中学生・大学生・地域住民）と連携して、地元長崎県の島原半島を活性化させるプランを考え、提案・実行する。そして、成果を素材として活かして観光客をメインターゲットとしたフリーペーパーを作成し、地元の魅力を発信する。

長期休業中に異世代（中学生・大学生・地域住民）とワールドカフェ形式のワークショップを実施する。その際、大学教授等の専門家に地域課題の明確化および地域活性化プランの提案・実行に向けての助言をいただく。

本校の「総合ビジネス科」では韓国語を学び、韓国と交流をしていることから、小浜高校のある小浜町の「小浜」と、韓国語の「愛＝さらん」を併せた「小浜さらん」をフリーペーパーの名称としている。地元企業等の広告を掲載し、印刷資金を提供してもらう形で、自走できるシステム作りを行う。この「企業広告」部分も、本校生徒が取材・制作を行うことで紙面の充実を図る。

生徒全員が一丸となって、「小浜さらん」の制作を行う。成果物「小浜さらん」を手にする段階で、または「小浜さらん」を手にとった周囲の大人からの声かけ等で生徒の目の色が変わることを期待する。





活動レポート

Report

生徒たちが学校内外で刺激を受けられる環境づくり

2024年度、小浜高校ではこれまで取り組んできた、島原半島の魅力再発見プロジェクト、通称「しみプロ」の二つの活動を外部の協力も得て改めて見直し、強化する方向で進めている。一つが、中学生・大学生・地域住民という異世代と連携したワークショップだ。ワールドカフェ形式で、島原半島の活性化に向けたアイデアを出し合うというもので、アイスブレイクや各グループの進行は有志で参加した生徒たちが務める。「コミュニケーションをとるのが苦手だった生徒たちがここでの経験を通して、人前で自分の意見を言ったり発表することに自信をつけてくれているようです」と、同校の緒方康仁先生は話す。24年度は、鎮西学院大学の教授・大学生にアドバイスをもらいながら、冬休みに実施する予定だ。

もう一つの取組が、フリーペーパー「小浜さらん」の制作だ。地元住民や観光客を対象にしたもので、これまでに生徒会メンバーを中心に過去2回制作していたが、今年度は普通科2年生の「総合的な探究の時間」で取り組む地域課題解決学習の内容を記事に反映するという。2年生は、地元企業と商品開発に取り組み、実際に販売したり、近隣にある小浜温泉のPR動画の撮影、企業のCM制作に取り組んでいる。その内容を11月の校内発表会で披露した後、今度はその発表を見た1年生が「小浜さらん」編集のバトンを受けとる。「鎮西学院大学の先生から、広告スペースも生徒たちの発表の場にできるのではないかというアイデアを頂きました。1年生が企業と連携しながらPR企画を考えて広告を作って、新しい『小浜さらん』を完成させる予定です」（緒方先生）。この枠組みは、長崎県立松浦高校の事例を参考にしたもので、10月に普通科1・2年生全員で松浦高校の校内発表会へ参加予定だという。「そこで本校の生徒の発表の場も頂くこともできました。近隣に鉄道もなく、他地域との交流の機会が少ない生徒たちは、松浦高校の発表を見て、レベルの違いに驚くかもしれませんが、こうした経験も貴重な機会。同世代から刺激を受けて、工学や農学などアカデミックな視点も取り入れた幅広い活動にシフトするきっかけにしたい」と、寺田五男教頭は話す。

また今年度は普通科1・2年生の発表会に、課題研究に取り組む総合ビジネス科3年生も初めて参加して発表するという。学校内外で刺激を受け、与え合うことで、同校の探究活動を活性化させたいと、寺田教頭は期待を込める。

三菱未来財団

<https://www.mmfe.or.jp/partners/5540/>



校外での活動日に、地元のアイスソルベ屋「アールサンクファミーユ」にて、アイスソルベへの試作を行った際の集合写真。



高校の購買部で昼休みに「アールサンクファミーユ」とコラボして作ったオリジナルアイスソルベを販売。



松浦高校での発表会の様子。オリジナルアイスソルベ開発のプロジェクトについて報告。定期的に購買部で販売するとともに、文化祭でも販売。どちらも完売するほどの人気だった。

三菱未来財団
<https://www.mmfe.or.jp/partners/5540/>

「島原半島の魅力再発見プロジェクト」の略であり、普通科の1・2年次の「総合的な探究の時間」で取り組んでいる地域課題解決型の学習活動のことです。雲仙市の全面的なバックアップのもと、地域との協働による活動を通して、高校生のふるさとへの愛着や誇りを育み、リーダーシップや思考力、コミュニケーション力等の力を養います。





南串山「パティスリーオオムラ」様との活動

まずは、雲仙市職員の方と同行してもらい、南串にある「有馬自然食品」様に出向き、黒砂糖を用いた商品開発を行いたいとしみプロへの協力をお願いしました。その後、同じ南串にある「パティスリーオオムラ」様に、「有馬自然食品」様の黒砂糖を用いた新商品開発の相談をしました。私たちは、黒砂糖を用いたプリンがおいしそうだと直感的に思ったので、黒糖を作ってもらいお願いしました。

試作品を作ってもらいながら、商品の味の検討を行いました。また、商品名や、ラベル用のシールなどの作成も行いました。そして、「黒糖ふりん」、黒糖ガレットの「クロット」、黒糖マドレーヌの「コクレーヌ」の3つの新商品が完成し、地元祭りの出店などの販売活動を行うことができました。そして、「パティスリーオオムラ」様の定番商品にして頂くこともできました。

紙面の都合で紹介することができませんが、餅屋「七郎屋」様(海雲)との、新商品「七かまフォンデュ」の開発、「ソフトクリーム屋カーム」様(小浜)との、期間限定商品「梅ソフトクリーム」の開発、常永屋店様(南串)のウェブページ制作、イリコ漁(古井丸)竹下様(南串)との「インドネシア研究会」の活動、他、ヤマト醤油様(十文字)、小浜食糧様(小浜)など、たくさんの地域の企業様に協力していただき、貴重な経験を行うことができました。

「パティスリーオオムラ」様で、「黒糖ふりん」、黒糖ガレットの「クロット」、黒糖マドレーヌの「コクレーヌ」を買うことができます。興味がある方は、是非どうぞ。



お問い合わせ!!
パティスリーオオムラ
☎0957-88-2892

島原半島の
魅力再発見
プロジェクト

しみプロ

しみプロとは…

島原半島の魅力再発見プロジェクトの略称であり、小浜高校の1・2年生を中心に、総合的な学習の時間で取り組んでいる、地域課題解決型の学習活動のことです。雲仙市のバックアップのもと、地域との連携による活動を通して、高校生ふるさとへ愛着や誇りを育み、リーダーシップや思考力、コミュニケーション力などを養うことが目的です。

1年生では、探究活動を経験することでその手法を学び、2年生では実践まで行い、地域の活性化につなげたいと考えております。地元企業の方々に、お世話になっている部分が大変多い現状もありますが、いくつか成果をこの紙面でお知らせしたいと思います。

「吾妻みそ」様との活動

この活動のみ生徒会活動として行った

「吾妻みそ」様の商品「油づみそ炊火」を、子どもでもお菓子のように食べられるようにアレンジしたいと提案し、吾妻みそ組合長様とともに、材料や作り方などを検討し「おやつみそ炊火」が完成しました。吾妻みそ感謝祭の会場で100袋ほどを販売しましたが、あっという間に完売しました。子ども向けに考えましたが、大人のものばっかりと吾妻みそという御高野の方にも好評でした。また吾妻みそのキャラクター「あづみさん」も考案しました。



※写真は2年生が撮影した写真です。

長崎県立小浜高等学校 発行

ORAMA SALAN

小浜さらん

創刊号

FREE
0円

天草四郎伝説を追う

しみプロで「黒糖ふりん」開発

郷土料理紹介「自転車めし」

アイアカネ工房

ピンチ人、新井氏の生誕地

釜山韓国語研修

小浜温泉 同好会始動

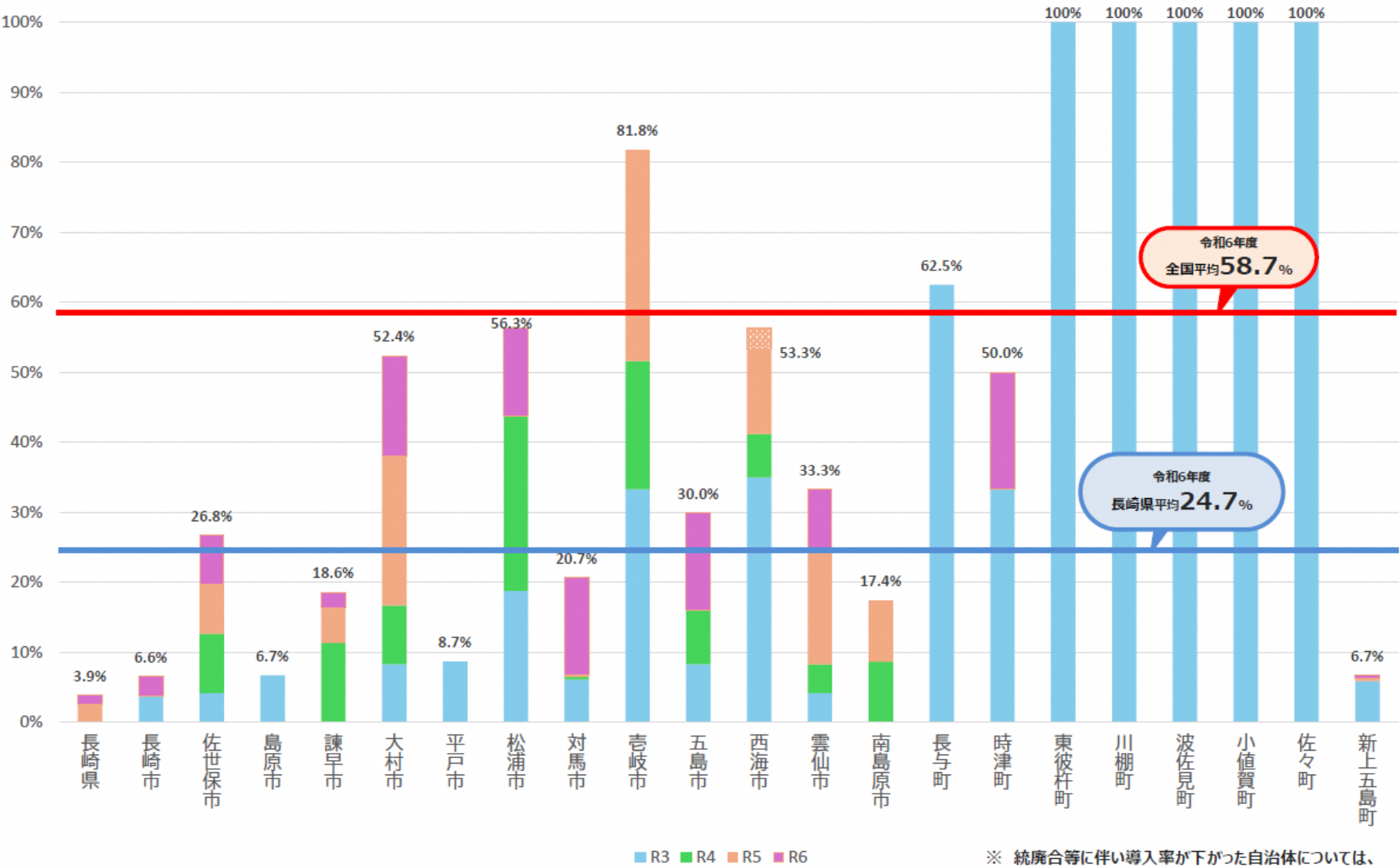
長崎県立小浜高等学校 小浜さらん 創刊号

コミュニティ・スクールの導入率（令和3年度以降の推移）

長崎県

各年度とも
5月1日時点

自治体別/全学校種



※ 統廃合等に伴い導入率が下がった自治体については、当該推移を網掛けで表示している。

学校と地域で作る学びの未来
https://manabi-mirai.mext.go.jp/upload/42nagasaki_2024chousa_barchart.pdf

コミュニティ・スクールについて

1 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の趣旨

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことで、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みである。

学校運営協議会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5に規定された組織であり、「当該学校の運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関」として、市町教育委員会は設置するように努めなければならない。

<コミュニティ・スクールの3つの役割>

- ① 学校運営の基本方針を承認する → 子ども像や学校運営のビジョンを共有
- ② 学校運営に関して意見できる → 学校の課題や魅力の共有
- ③ 教職員の任用に関して意見できる → 学校の課題解決や特色づくり

また、長崎県教育委員会では、令和2年度までに各市町は1つ以上のコミュニティ・スクールを設置することとしている。

<長崎県のコミュニティ・スクール導入状況及び予定>

～H27	H28	H29	H30	R1	R2(予定)	R5(目標)
1市町 1校	2市町 5校	5市町 13校	6市町 16校	11市町 32校	18市町 54校	全市町 100校

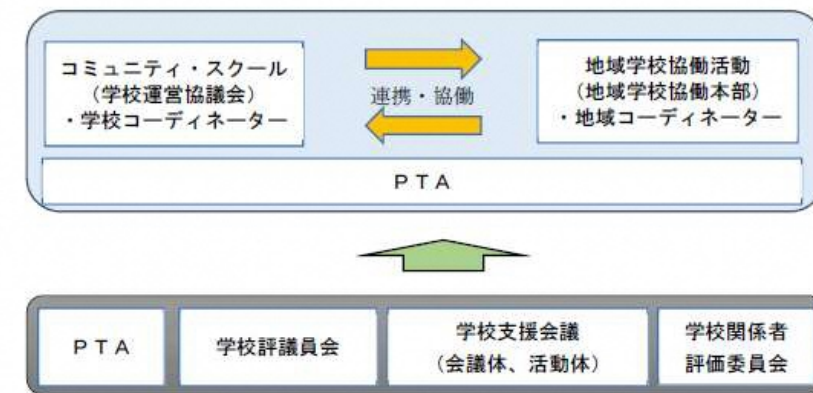
2 コミュニティ・スクール導入のメリット

- (1) 組織的・継続的な体制の構築ができる。
- (2) 役割分担をもって連携・協働による取組ができる。
- (3) 学校が掲げる目標・ビジョンを共有できる。
- (4) 風通しの良い学校運営が図られる。
- (5) 地域総がかりで育成ができる。
- (6) 学校を中心とした活動ネットワークが広がる。

3 組織と役割

- (1) 学校運営協議会・・・学校運営の基本方針の承認と意見
 - ・委員 → 地方公務員法上の非常勤特別職公務員の身分
 - ・学校コーディネーター → 学校側の窓口
- (2) 地域学校協働本部・・・地域学校協働活動の調整と提供
 - ・委員 → 市教育委員会が委嘱する委員
 - ・地域コーディネーター → 地域と学校の調整役

○コミュニティ・スクール（学校運営協議会）と地域学校協働活動の一体的推進をめざす。



4 地域学校協働活動

地域の高齢者、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える共に、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校がパートナーとして連携・協働して行う様々な活動

5 地域支援活動から地域学校協働活動へ

現在、本市では、各学校の学校支援会議が開催する事業、青少年育成会議、子ども会が開催する事業など、学校と地域とのかかわる事業が数多く行われている。

<主な事業>

- (1) 安心・安全向上活動
 - ・交通安全運動(町全体)、交通安全教室(PTA・交通安全協会)、少年の日(関係機関)、夜間パトロール(青少協)
- (2) 学校行事等支援活動
 - ・学校の支援活動(学校支援会議)、職場体験学習(商工会他)、地域交流(高齢者学級・海浜清掃(市内全体)、中学校部活動(PTA、外部指導者)、読み聞かせ(市内図書館)
- (3) 文化活動
 - ・少年の主張発表大会(青少協)、町民文化祭(文化協会)、寺子屋21(教育委員会)
- (4) スポーツ活動
 - ・寺子屋21(教育委員会)・各地区お祭り(自治会)・町民体育大会(実行委員会)

6 今後のスケジュール

<設置目標>

年 度	学校運営協議会準備 検討委員会設置地区	学校運営協議会設置校 (コミュニティ・スクール)
令和2年度	1地区	
令和3年度	1地区	2校
令和4年度	2地区	3校
令和5年度	2地区	5校
令和6年度	2地区	5校
令和7年度		6校

※準備検討委員会は、加津佐地区、口之津地区、南有馬地区、北有馬地区、西有家地区、有家地区、布津地区、深江地区に設置する予定

※設置目標は、令和2年度現在の予定であり、地域や学校の実態、要望等に応じて修正

7 地域とともにある学校づくり・学校を核とした地域づくりのために

南島原市は、水産業、農業や商工業そして古くからの文化や歴史がある地域であり、このことを子どもたちに伝え、そして次の世代につないでいく持続可能なまちづくりを実現していく必要がある。

現在の地域支援活動の目的や内容そして効果を整理・統合し、効果的に進めていくための核となるのがコミュニティ・スクールであり、地域学校協働活動と一体的に推進する。

第2期 南島原市 教育振興基本計画

令和6(2024)年度～令和10(2028)年度



南島原市教育委員会

https://www.city.minamishimabara.lg.jp/kyouiku/kiji00311255/3_11255_63345_up_bc0azmx6.pdf

南島原市教育委員会

(3) 地域に根ざした教育の推進

総合的な学習の時間において、世界遺産学習をはじめとする「ふるさと学習」を実施するほか、子どもたちが市の歴史や歴史遺産の価値について正しい理解を得られるよう努めるなど、郷土に愛着と誇りを持った市民の育成を図ります。

① ふるさと学習（郷土学習）

各学校では、社会科や総合的な学習の時間などに、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産（原城跡）を含む、郷土の自然や文化、歴史など（ひと・もの・こと）を学ぶことによって、ふるさとを心に刻み、将来何らかの形でふるさとに貢献しようとする人材を育成する「ふるさと学習」を計画的に実施します。

そのような学習をサポートするため、郷土学習資料「わたしたちの南島原市」の初版を平成21年3月に発行し、令和4年2月に2回目の改訂を行いました。今後も、学習指導要領の改訂に伴い、その改訂を行います。

② 北村西望賞教育美術展の実施

本市の出身で名誉市民である北村西望氏の御功績を顕彰するとともに、各学校の美術教育の振興を図り、児童生徒が美術を通じて、感性を高め、豊かな創造力を育てることを目的とし、北村西望賞教育美術展を開催します。

③ 古野賞科学技術展の実施

本市の出身で名誉市民である古野清孝、古野清賢 御兄弟の御功績を顕彰するとともに、各学校の科学技術教育の振興を図り、児童生徒が科学や技術に興味をもって課題解明に取り組み、科学的思考や表現力を育てることを目的とし、古野賞科学技術展を開催します。



「ふるさと学習（郷土学習）」



「北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展」

④ コミュニティ・スクール（学校運営協議会）※17の設置

地域住民、児童生徒の保護者などの学校運営への参画を促進します。この取組により、本市の将来を担う児童生徒を地域全体で育む「地域と共にある学校づくり」を推進するとともに、地域や子どもをめぐる課題解決のためのプラットフォーム※18にもなり得る学校を核とした地域づくりを推進します。

※17 コミュニティ・スクール（学校運営協議会）（P12）

学校と保護者や地域住民が力を合わせ、学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教行法第47条の5）に基づいた仕組。

※18 プラットフォーム（P12）

拠点の意味。教職員、保護者、地域住民、行政、福祉関係団体など、多様なメンバーからなるチームを作り、連携・協働して地域や子どもをめぐる課題を解決するための拠点として学校を位置づける考え方。

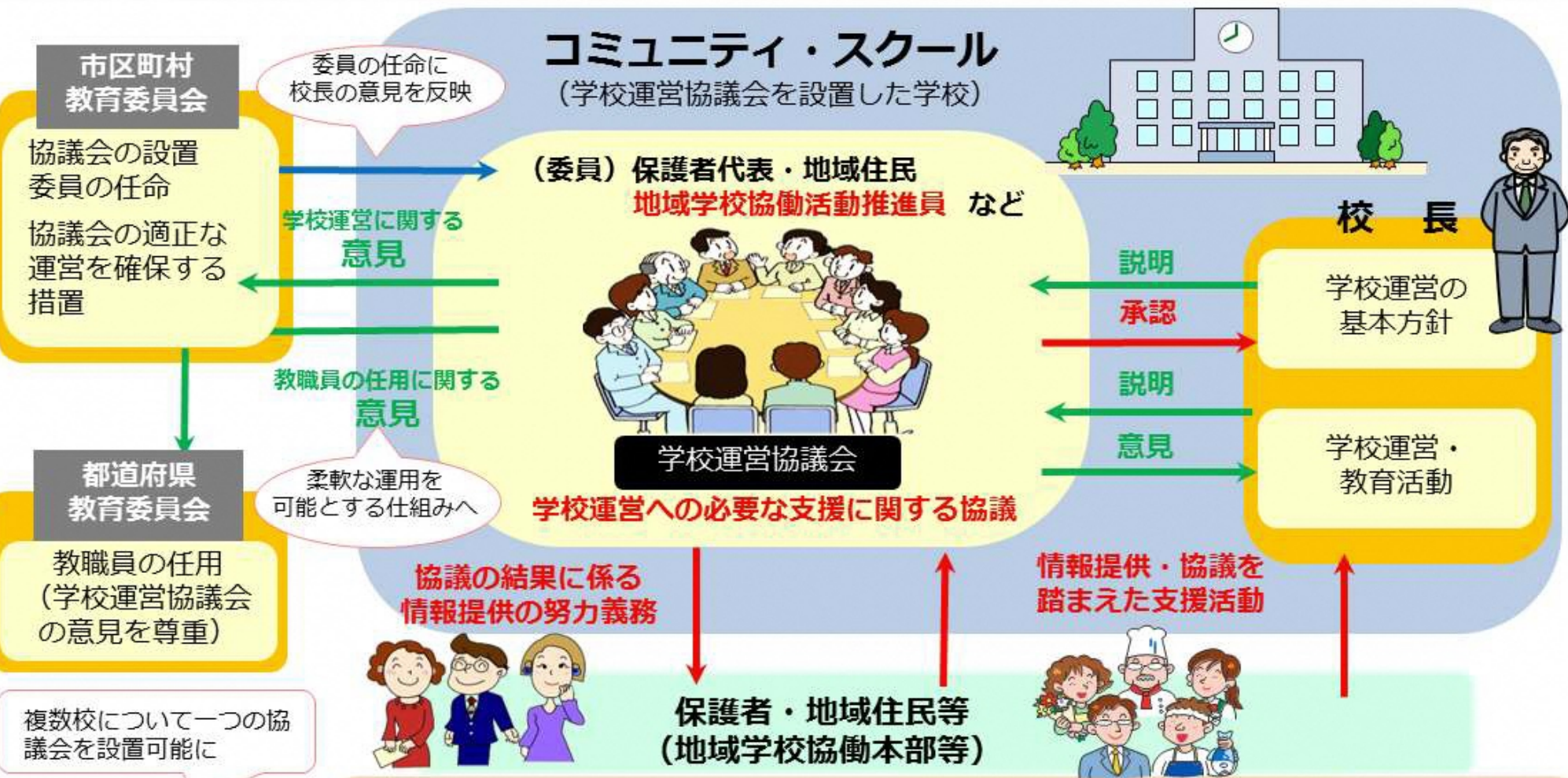
【目標とする指標】

指 標 名	令和4年度	令和10年度
市学力調査のすべての学年の全ての調査で全国平均以上の正答率の学校数	0校	10校
英検及び英検Jr.学校版受験者数の割合（小学校）	5%	8%
英検受験者数の割合（中学生）	32%	40%
英検3級以上の英語力を有する生徒の割合 （中学校卒業時）	48%	60%
PC、タブレット※20などのICT機器を活用した学習をほぼ毎日している児童の割合 （全国学力・学習状況調査児童質問紙より）	13%	100%
古野賞科学技術展の出展の割合	69%	80%
学校運営協議会を設置した学校数 （コミュニティ・スクール）	2校	12校

南島原市教育委員会

https://www.city.minamishimabara.lg.jp/kyouiku/kiji00311255/3_11255_63345_up_bc0azmx6.pdf

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



<学校運営協議会の主な役割>

地教行法第四十七条の五

教育委員会が、学校や地域の実情に応じて学校運営協議会を設置

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができること
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができること



文部科学省

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/community/index.htm

● コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(第47条の5) 条文解説

学校運営協議会関係法令 解説

【関係条文】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和三十一年法律第百六十二号)(抄)

※学校運営協議会制度は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」(平成十六年法律第九十一号)において創設。最終改正は「義務教育諸学校等の体制の充実及び運営の改善を図るための公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律等の一部を改正する法律」(平成二十九年法律第五号)による。

第四十七条の五

1. 教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その所管に属する学校ごとに、当該学校の運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関として、学校運営協議会を置くように努めなければならない。ただし、二以上の学校の運営に関し相互に密接な連携を図る必要がある場合として文部科学省令で定める場合には、二以上の学校について一の学校運営協議会を置くことができる。
2. 学校運営協議会の委員は、次に掲げる者について、教育委員会が任命する。
 - 一 対象学校(当該学校運営協議会が、その運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する学校をいう。以下この条において同じ。)の所在する地域の住民
 - 二 対象学校に在籍する生徒、児童又は幼児の保護者
 - 三 社会教育法(昭和二十四年法律第二百七号)第九条の七第一項に規定する地域学校協働活動推進員その他の対象学校の運営に資する活動を行う者
 - 四 その他当該教育委員会が必要と認める者
3. 対象学校の校長は、前項の委員の任命に関する意見を教育委員会に申し出ることができる。
4. 対象学校の校長は、当該対象学校の運営に関して、教育課程の編成その他教育委員会規則で定める事項について基本的な方針を作成し、当該対象学校の学校運営協議会の承認を得なければならない。
5. 学校運営協議会は、前項に規定する基本的な方針に基づく対象学校の運営及び当該運営への必要な支援に関し、対象学校の所在する地域の住民、対象学校に在籍する生徒、児童又は幼児の保護者その他の関係者の理解を深めるとともに、対象学校とこれらの者との連携及び協力の推進に資するため、対象学校の運営及び当該運営への必要な支援に関する協議の結果に関する情報を積極的に提供するように努めるものとする。
6. 学校運営協議会は、対象学校の運営に関する事項(次項に規定する事項を除く。)について、教育委員会又は校長に対して、意見を述べることができる。
7. 学校運営協議会は、対象学校の職員の採用その他の任用に関して教育委員会規則で定める事項について、当該職員の任命権者に対して意見を述べることができる。この場合において、当該職員が県費負担教職員(第五十五条第一項又は第六十一条第一項の規定により市町村委員会がその任用に関する事務を行う職員を除く。)であるときは、市町村委員会を経由するものとする。
8. 対象学校の職員の任命権者は、当該職員の任用に当たっては、前項の規定により述べられた意見を尊重するものとする。
9. 教育委員会は、学校運営協議会の運営が適正を欠くことにより、対象学校の運営に現に支障が生じ、又は生ずるおそれがあると認められる場合においては、当該学校運営協議会の適正な運営を確保するために必要な措置を講じなければならない。
10. 学校運営協議会の委員の任免の手続及び任期、学校運営協議会の議事の手続その他学校運営協議会の運営に関し必要な事項については、教育委員会規則で定める。

ニュース

NEWS

2021.10.04 イベント

南有馬中学校にて「南有馬町魅力 発信プロジェクト」の技術サポ ート！



IT人材育成事業

南有馬中学校の3年生が現在取り組んでいる『総合学習』の授業サポートに行っていました。

南有馬中学校では、『南有馬地区コミュニティースクール』の一環で地域の企業様の協力のもと、取材を行いPRのためのCM作りに取り組んでいます。

今日は、5・6時間目を使って、取材で撮ってきた動画や写真を編集する作業をスタートしました。

今年度、一人一台配布されたタブレットを活用して作業をする上で、Teamsを使って写真や動画を共有したり、それぞれがTeamsからデータを取り込んで、編集作業をする方法など、ゲストティーチャーとしてサポートを行いました。

動画の編集作業に入ると、昨年もiPadを利用して動画編集をした経験から、生徒たち自らの自由な発想で作業が進んでいきます。

今日、それぞれが作業した内容を次回の授業で、つなぎ合わせて一つのCMとして完成を目指していくようです。

■当日のイメージ写真



ミナサポ

<https://minasapo.jp/news/archives/46>

義務教育学校

小長井ナビ



諫早・小長井 活性化のアイデア発表 地域の未来に若者ら危機感、町づくりを考える

2023/04/26 [11:30] 公開

Microsoft

① 拡張機能をインストール

インストール >

人口減少や高齢化が進む長崎県諫早市小長井町で、若い世代の住民が地域の未来を考える会議「小長井ナビ」を立ち上げ、地域活性化の検討を重ねている。21日にアイデア発表会があり、中学生から40代までの4グル...

続きを読む >



独創的なアイデアを発表する「小長井ナビ」メンバー＝諫早市、小長井文化ホール

☆☆☆各班から発表のあった活性化策(アイデア)☆☆☆
【第2回・第3回の会議で出たアイデア】

 いちご班

- テレビ番組や映画、CM等のメディアを活用し、小長井の自然をPR
- ゴルフ場に若者が来るような仕組みづくり。
- フルーツバス停を見に来た人にフルーツサンドを買ってもらうようお店とコラボ。
- 中学校の制服デザインを一新(格好いい制服で選ばれる学校に)
- 子育て世代向けに人当たりのいい地域という特色を連動(子育ての手伝い)
- 空き家を店に。空き家と起業家をマッチングさせる支援。
- 空きスペースにキッチンカーや移動販売を呼ぶ。
- 小学生向けの牡蠣の種付け収穫体験を一般向けに開発。

 みかん班

- フルーツバス停をラッピングバスで巡るツアー
- 牡蠣、アサリご飯やいもんこ煮しめなどで小長井駅弁をつくる
- 気軽に小長井のものが買えるECサイトの開設
- キャンプ芸人とコラボし、山茶花高原など小長井の豊かな自然をYouTubeにあげてもらう
- スクールバス、コミュニティバス、観光バスの複合型バスを運行
- 3小学校と中学校を統合し、諫早初の9年制学校。正しいSNSの使い方等特色ある教育を実施。
- おしゃれなパン屋など都会にあるような普段使いの店を呼び込めるような仕掛け
- フルーツバス停に「お」エコマッピングをし、夜の特別感で昼夜問わず観光客を集める

 メロン班

- 新幹線イベント等に海産物、農産物の出店
- 海産物、農産物を広めるため潮干狩りや牡蠣などの体験ツアー(ECサイトで集客)
- SNSフォトコンを実施し、景品として海産物・農産物を提供
- 山茶花高原ピクニックパーク・ハーブ園に雨でも遊べる施設を
- ハーブ園は大人向けの施設なので、子どもでも楽しめるような施設へ改修
- 農業体験や大工などの職業体験ができるイベントの開催
- 車やバイクのイベントを定期的に開催し、小長井を休日の目的地化

 トマト班

- 駅を大きなオブジェなどにしてフルーツ駅化
- フルーツ駅に人が集まるので、近くに道の駅を作り特産品、農水産物を販売
- 海の見える駅として、佐賀県の駅や島鉄の大東駅、千綿駅などと組んで、周遊できるスタンブラリーなどを実施



今回は事業計画を練っていきます！
またご連絡します。

諫早市

<https://www.city.isahaya.nagasaki.jp/uploaded/attachment/1034.pdf>

諫早市

<https://www.city.isahaya.nagasaki.jp/uploaded/attachment/20317.pdf>

■ おしらせ ① ■

スクールバスのラッピングが完成しました



小長井地域の3小学校の児童が『小長井地域の魅力やすばらしさ』を描いた絵を、諫早市地域おこし協力隊の「伊藤優美」さんがレイアウトし、白いスクールバスにラッピングしました。可愛らしいフルーツバス停や、小長井牡蠣などがスクールバスの両面に数多く描かれています。また、バスの正面には諫早市のロゴマークが描かれ、背面には「諫早市」と書かれています。これから、登下校などで小長井地域内外を走行しますので、是非ご覧ください。(下参照)

右側面



正面



令和6年度 諫早市立長里小学校、小長井小学校、遠竹小学校 児童作品 と書かれています。

スクールバスに
ラッピングされ
た児童作品
詳細は実物で
ご確認ください

右側面



左側面



■ おしらせ ② ■

遠竹小学校、長里小学校の閉校記念式典の様子をご覧ください



☎こちらから、2月16日(日)に行われた遠竹小学校の閉校記念式典の様子と、2月23日(日・祝)に行われた長里小学校の閉校記念式典の様子を「写真」でご覧いただけます。諫早市のホームページ内に掲載しています。後ほどご覧ください。下の写真は、校長から教育長への校旗返納の様子です。



遠竹小学校 校旗返納



長里小学校 校旗返納

【小中一貫教育について】

○義務教育学校、小中一貫校の違い



○全国的な動向

これまで運用上行われてきた小中一貫教育の取組では、小・中学校が別々の組織として設置されていることから、教育主体・教育活動・学校マネジメントの一貫性の確保等に課題があり、小中一貫教育を効果的・継続的に実施していく上で就学年の固定化など一定の限界が存在するため、現場からも義務教育学校の制度化の要望が国に対して寄せられていた。文部科学省では、地域の実情に応じた柔軟な取組を可能とするために制度改正を行い、平成28年4月1日から、小中一貫教育として義務教育学校が設置可能となった。このことを受けて、北は北海道から南は鹿児島県まで義務教育学校が設置され、平成30年5月現在80校を超えてきている。

大阪市

<https://www.city.osaka.lg.jp/shiseikaikakushitsu/cmsfiles/contents/0000465/465078/15siryou5-2-2.pdf>



「小学校統合」で、「義務教育学校開校」で 小長井地域の学校教育が変わります!

・・・小長井地域の子もたち一人ひとりの明るい未来につながる義務教育をめざして・・・

◆ 小長井地域は児童生徒数の減少に伴う学校の小規模化が進行

学校の小規模化は、児童生徒一人ひとりへのきめ細かな対応が行いやすいなど、一定の利点がある一方、同学年に同性がなかったり、授業形態や学校行事に制約があったりするなど、集団生活の中で社会性を育むという面での影響が考えられます。地域の核としての性格を有することが多い学校と、自治会をはじめとする各地域団体との連携や協働は、今後の教育活動において重要度を増してきています。

このような「学校規模」や「地域の実態」等、様々な現状を踏まえ、保護者や地域の皆様とともに、子どもたちを主役とした『学校づくり』をめざしてまいります。

令和7年4月 小長井 3 小学校 統合

教育環境整備後

諫早市

令和10年4月 義務教育学校※ 開校

※ 義務教育学校は、校長が1人、1つの教職員組織で、9年間連続した教育を行う学校のこと

◆ 小長井地域 学年ごとの児童・生徒数推移【R5.3.13 現在】 【学校改革推進室推計】

小長井地域3小学校統合で、子どもたちはこれまで以上の集団の中で活気に満ちた活動ができます。

小長井地域 学年ごと児童生徒数・学級数推移 (学級数は特別支援学級除く)

〔小学校：長望小・小長井小・遠竹小 中学校：小長井中〕

学級編 制基準 (県)	単位	R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10	
		児童・ 生徒 数	学級 数	児童・ 生徒 数	学級 数	児童・ 生徒 数	学級 数	児童・ 生徒 数	学級 数	児童・ 生徒 数	学級 数	児童・ 生徒 数	学級 数	児童・ 生徒 数	学級 数
小1	30	29	1	19	1	24	1	24	1	25	1	19	1	15	1
小2	35	20	1	29	1	19	1	24	1	24	1	25	1	19	1
小3	35	23	1	21	1	29	1	19	1	24	1	24	1	25	1
小4	※40	34	1	23	1	21	1	29	1	19	1	24	1	24	1
小5	※40	27	1	35	1	23	1	21	1	29	1	19	1	24	1
小6	35	30	1	27	1	35	1	23	1	21	1	29	1	19	1
3小学校 計		163	6	154	6	151	6	140	6	142	6	140	6	126	6
中1	35	31	1	30	1	27	1	35	1	23	1	21	1	29	1
中2	40	24	1	31	1	30	1	27	1	35	1	23	1	21	1
中3	40	39	1	24	1	31	1	30	1	27	1	35	1	23	1
中学校 計		94	3	85	3	88	3	92	3	85	3	79	3	73	3
小中合計		257	9	239	9	239	9	232	9	227	9	219	9	199	9

※ 学級編制基準(県): R5に小4 40人→35人 R6に小5 40人→35人 段階的に減少
R6に小学校は小1を除き35人学級となる

◆ 小長井地域「3小学校統合」と「義務教育学校開校」までのスケジュール【案】

学校改 革計画			3 小学校 統合			義務教育 学校開校	
年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
交 流	3小交流		小中交流				
小1	小1	(年長)	(年中)	(年少)			
小2	小2	小1	(年長)	(年中)	(年少)		
小3	小3	小2	小1	(年長)	(年中)	(年少)	
小4	小4	小3	小2	小1	(年長)	(年中)	(年少)
小5	小5	小4	小3	小2	小1	(年長)	(年中)
小6	小6	小5	小4	小3	小2	小1	(年長)
中1	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1
中2	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2
中3	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3

『小長井3小学校統合』時期：今年度の小学校1年生が、小学校3年生になる時 印
『義務教育学校の開校』時期：今年度の小学校1年生が、小学校6年生になる時 印

◆ 統合や小中一貫教育(義務教育学校)のメリット

※ 統合のメリット:

統合により児童数が多くなることで、学習、生活、行事の可能性がより広がります。

- 学校生活全ての場面で、友だちや先生との関わりが多様になります。
- クラスの人数が増えることで、コミュニケーションの幅がより大きくなります。
- 教職員数が増えるため、より多くの大人の目で子どもたちを見守ることが出来ます。

※ 小中一貫教育(義務教育学校)のメリット:

〔文部科学省:「小中一貫教育の導入調査」(H29.3)〕

- いわゆる「中1ギャップ」の緩和につながります。
- 9年間が連続するため、学習規律・生活規律の定着を図ることが出来ます。
- 上級生が下級生の手本となろうとする意欲が図られ、下級生は上級生へのあこがれが育ちます。
- 児童生徒の思いやりや助け合いの気持ちが自然と生まれます。



諫早市教育委員会 学校改革推進室 TEL 0957-22-1500 (代表)

諫早市

<https://www.city.isahaya.nagasaki.jp/uploaded/attachment/13047.pdf>

『小長井地域義務教育学校 開校準備委員会』だより

第1号

R7.6.3 発行

文責：諫早市教育委員会 学校改革推進室

■ はじめに： 小長井地域の3小学校が今年4月統合しました！



小長井地域では、令和7年4月に長里小学校、小長井小学校、遠竹小学校の3つの小学校が統合し新生小長井小学校として、初等教育の新たな歴史をスタートさせました。

令和7年4月9日（水）に多くのご来賓をお迎えし、小長井小学校体育館において「統合式」が行われ、その後、同会場において統合後初めての入学式が執り行われました。

小長井小学校は今年度、全校児童142名で順調なスタートを切ったところです。

そして……

小長井地域には3年後の令和10年度に、諫早市で初めてとなる中学校とも統合した小中一貫教育を行う「義務教育学校」を開校いたします。「義務教育学校」の開校に向けては様々な準備が必要になるため、『小長井地域義務教育学校 開校準備委員会』を先般小長井地域に立上げ、第1回目の会議を行いました。

開校準備委員会の委員には、小長井小・中学校の保護者代表、住民代表、小長井小・中学校の校長・教頭、小長井地域の保育園・こども園の園長はじめ有識者の21名に委嘱いたしました。令和10年度の義務教育学校開校までの約3年間協議を行っていくことになります。

諫早市で初めて開校する「義務教育学校」は、『地域とともに歩む魅力あふれる学校づくり』をコンセプトとして、施設・設備などのハード面だけでなく、教育内容などのソフト面においても諫早市内、長崎県内はもとより、全国に誇れる素晴らしい「義務教育学校」を誕生させたいと考えております。開校準備委員会の様子はこの『小長井地域義務教育学校 開校準備委員会』だよりで随時お伝えしてまいります。

■ 開校準備委員会と専門部会等組織：



開校準備委員会 [委員長・副委員長]

- ◎ 校名、校章、校歌の制定に関する事。
- ◎ 通学方法に関する事。
- ◎ 義務教育学校開校記念事業に関する事。
- ◎ その他 学童他、開校準備に必要な事項に関する事。

必要に応じて

報告

必要に応じて

報告

〔PTA 検討会〕

両校で組織

メンバー：

- ・小・中学校の PTA 役員
- ・小・中学校の管理職
(主に教頭)
- ・その他

検討項目：

- ・ P T A の組織運営・会則等に関する事。等

PTA検討会には、必要に応じて教育委員会担当課を配置しサポート

総務部会 [部長・副部长]

必要に応じて教育委員会担当課を配置しサポート

メンバー：

- ・地域住民及び保護者代表
- ・有識者
- ・小・中学校の管理職
- ・その他 部長が必要と認める者

検討事項：

- ◎ 校名、校章、校歌の制定に関する事。
- ◎ 通学方法に関する事。
- ◎ 義務教育学校開校記念事業に関する事。(記念式典等)
- ◎ その他 (学童に関する事など)

〔学校運営検討会〕

両校で組織

A

教育課程関係

B

施設備品関係

メンバー：

- ・小・中学校の管理職及び関係職員
- ・その他

検討項目：

- ・学校運営や施設備品に関する事。等

学校運営検討会には、必要に応じて教育委員会担当課を配置しサポート

「PTA 検討会」と「学校運営検討会」は開校準備委員会とは別に、小・中学校の保護者、教職員等で組織し実施します。なお、開校準備委員会および総務部会、各検討会の事務局は学校改革推進室が行います。

諫早市

<https://www.city.isahaya.nagasaki.jp/uploaded/attachment/20933.pdf>

小中高一貫教育

> [奈留高等学校のトップページへ](#)

🔍 学校紹介

[学校概要](#)
[Eーアイランド・スクール](#)
[COREハイスクールネットワーク](#)
[奈留実践（総合的な探究の時間）](#)
[小中高一貫教育・合同行事](#)
[教育課程](#)
[学校生活・学校行事](#)
[部活動](#)
[地域行事・ボランティア活動](#)
[進路](#)
[行事予定](#)
[学校だより（鍛錬坂）](#)
[学校パンフレット](#)
[交通アクセス](#)
[その他](#)

🔍 特定利用者向け

[難島留学](#)
[中学生の方へ](#)
[在校生・保護者の方へ](#)
[卒業生の方へ](#)
[よくある質問](#)

🔍 その他

[リンク集](#)

小中高一貫教育・合同行事



★小中高一貫教育

新着情報

▶ 2025年6月16日 [第3回小中高交流給食](#)（奈留高等学校）

▶ 2025年5月30日 [第1回小中高合同生徒打ち合わせ会](#)（奈留高等学校）

- [第3回小中高交流給食](#)
- [第1回小中高合同生徒打ち合わせ会](#)
- [【同日開催】小中高合同生徒打ち合わせと第2回交流給食](#)
- [第1回小中高交流給食を実施しました](#)
- [第3回小中高合同打ち合わせ会](#)
- [第2回小中高合同打ち合わせ会](#)
- [小中高合同かるた・百人一首大会](#)
- [奈留小中高かるた・百人一首大会](#)
- [小中高合同かるた・百人一首大会](#)
- [小中高合同体育大会](#)
- [令和3年度小中高合同歓迎遠足](#)
- [小中高一貫教育について](#)

長崎県教育委員会
<https://www2.news.ed.jp/bunrui/syukai/tokusyoku/70550ikkann/>

[ホーム](#) [学校案内](#) [学校（校種別）で探す](#) [学校（市町別）で探す](#) [カレンダーで探す](#)

> [奈留高等学校のトップページへ](#)

 [このページを印刷する](#)

学校紹介

- ▶ [学校概要](#)
- ▶ [Eーアイランド・スクール](#)
- ▶ [COREハイスクールネットワーク](#)
- ▶ [奈留実践（総合的な探究の時間）](#)
- ▶ [小中高一貫教育・合同行事](#)
- ▶ [教育課程](#)
- ▶ [学校生活・学校行事](#)
- ▶ [部活動](#)
- ▶ [地域行事・ボランティア活動](#)
- ▶ [進路](#)
- ▶ [行事予定](#)
- ▶ [学校だより（鍛錬坂）](#)
- ▶ [学校パンフレット](#)
- ▶ [交通アクセス](#)
- ▶ [その他](#)

特定利用者向け

- ▶ [離島留学](#)
- ▶ [在校生・保護者の方へ](#)
- ▶ [卒業生の方へ](#)
- ▶ [よくある質問](#)

その他

- ▶ [リンク集](#)

小中高一貫教育について

2019年5月16日更新

【長崎県小中高一貫教育導入の経緯】



離島を多く抱える長崎県では、一島一高校の「宇久・小値賀・奈留」の3地区において、教育条件の維持・向上と学校相互の活性化を図るため、平成13年度から「連携型中高一貫教育」を導入した。しかし、過疎化・少子化の進行は止まらず、各島内の学校では、規模の縮小・配置教員数の減少を余儀なくされ、教育水準の低下が懸念されるようになった。そこで、これらの教育活動上の制約を克服し、全ての児童・生徒の健全育成を実現するために、「小中高一貫教育」が導入されることとなった。この長崎県独自の教育システムは、平成20年度から本格実施となり、現在、各地区において、小学校・中学校・高等学校、さらには地域が一体となり、12年間の一貫継続した系統的な教育の在り方を探求している。

【奈留小中学校・高等学校の概要】

平成20年度から小中併設校となり、小中学校のグラウンドを挟んで小中学校と高校が隣接した。また、平成22年度末には、小中学校の新校舎が完成し、高校校舎との距離はさらに近くなった。小中学校と高校校舎をつなぐ渡り廊下も設置され、施設面でも各校の連携・交流が、スムーズに行える環境が整っている。

児童生徒数が減少していく中、小中学校においては平成29年度から「しま留学制度」を、高校においては平成30年度から「離島留学制度」を取り入れ、島外からの児童生徒の受け入れを始めた。特に高校では、小中で培った英語力を生かし、さらに高めるため「Eーアイランド・スクール」を特色の一つとして打ち出し、学校教育及び地域の活性化を目指している。

長崎県教育委員会

<https://www2.news.ed.jp/bunrui/syokai/tokusyoku/70550ikkann/47309.html>

【三大行事】

「歓迎遠足」「かるた・百人一首大会」「体育大会」の3つの行事は、小学校・中学校・高校が合同で行う。この3つを「三大行事」として、小中高が連携して取り組む。



【沿革】

<奈留小中学校>

明治 7 年 奈留小学校開校
昭和 40 年度 奈留中学校開校
平成 13 年度 連携型中高一貫教育導入
平成 20 年度 奈留小中学校併設となる→小中高一貫教育本格実施
平成 21 年度 新校舎起工式
平成 22 年度 新校舎完成及び移転
平成 29 年度 しま留学制度開始

<奈留高等学校>

昭和 40 年 長崎県立五島高等学校奈留分校設立
昭和 51 年度 長崎県立五島高等学校奈留分校から独立→長崎県立奈留高等学校となる
平成 13 年度 連携型中高一貫教育導入
平成 20 年度 小中高一貫教育本格実施
平成 30 年度 離島留学制度開始

【乗り入れ授業】

免許外の授業担当を解消し、児童・生徒の基礎学力及び発展的学力を高めるために、教員が他校種の学校へ赴き、自らの専門性を生かした授業を行っている。「乗り入れ授業」は、特定の教員が一年間（また一定期間）を通して、在籍校以外の学校で授業を行うものである。

長崎県教育委員会

<https://www2.news.ed.jp/bunrui/syokukai/tokusyoku/70550ikkann/47309.html>

テーマ

『住み続けられるまちづくり』の達成に向けた、奈留島の魅力発見と課題解決型教育

目標

地域の良さを知るとともに、地域の諸問題にも目を向け、自ら課題を発見し、地域自治体や地元の事業所、大学の専門家の助言を受けながら、地域の課題解決に向けて取り組む。地域と深く関わることで奈留島への愛着を育むとともに、地域の若い担い手としての人材を育成する。

育成したい資質・能力

思考力、判断力、表現力

学びに向かう
主体性・協働性

地域に貢献しようとする
態度

地域への愛着と誇り

外部連携機関 (行政機関・事業所)

○五島市役所
○五島市役所総務企画部
○五島市役所奈留支所
○五島市商工会奈留支所
○五島市教育委員会
○長崎県五島振興局

○奈留町漁業協同組合
○NPO法人DONDON奈留
○九電みらいエナジー株式会社
○一般社団法人奈留しまなび舎

連携

協働

長崎県立奈留高等学校

(普通科1・2・3年、生徒数33名)

奈留実践運営委員会

〔委員長〕校長、〔副委員長〕教頭

教務主任、進路指導主事、各学年主任、CORE担当(地歴、探究)

<主な取組>

○地域調査

- (1) 地域の企業等を訪問し、インタビューやアンケート等の調査を実施
- (2) 地域の有識者や大学の教授等を招聘し、地域に関連した講演を実施

○研究課題の設定

- (1) 進路希望に関連する課題や、フィールドワーク等を通じた調査結果を検討、分析
- (2) 外部連携機関の助言等による研究課題の明確化

○地域課題解決の研究

- (1) 大学や行政機関、地域活性化に取り組む団体との連携
- (2) 地域課題解決に向けて、グループで協働して解決策を研究

○研究成果の発表

- (1) 地元の行政機関や事業所、地域住民、保護者等に向けた中間報告会(令和5年9月)
- (2) 地元の行政機関や事業所、地域住民、保護者等に向けた研究発表会(令和5年9月)

○郷土料理: ふくれもち・ちまきづくり・水産教室: 魚捌き体験

○地理巡検「江上天主堂・ノコピ浦の防風堤・ビーチロック学習」

成果指標

- (1) 将来ふるさとの発展に貢献したいという意識が高まった生徒の割合 80%
- (2) 希望目標に向かって挑戦する力がついた生徒の割合 80%
- (3) 生徒に求める資質・能力の育成に資するよう授業改善を行った教員の割合 80%

外部連携機関 (大学・専門機関)

○鎮西学院大学

連携

協働

地域社会(保護者を含む住民、産業、文化、歴史等)

長崎県教育委員会

<https://www2.news.ed.jp/shared/uploads/2022/03/1678845322.pdf>

ホーム 学校案内 学校（校種別）で探す 学校（市町別）で探す カレンダーで探す

> 奈留高等学校のトップページへ

学校紹介

- 学校概要
- Eーアイランド・スクール
- COREハイスクールネットワーク
- 奈留実践（総合的な探究の時間）
- 小中高一貫教育・合同行事
- 教育課程
- 学校生活・学校行事
- 部活動
- 地域行事・ボランティア活動
- 進路
- 行事予定
- 学校だより（鍛錬版）
- 学校パンフレット
- 交通アクセス
- その他

特定利用者向け

- 離島留学
- 在校生・保護者の方へ
- 卒業生の方へ
- よくある質問

その他

- リンク集

奈留実践（総合的な探究の時間）



停止

- 総合的な探究の時間～ジオパーク拠点施設と地元企業等見学ツアー
- 1学年奈留実践トランセクトウォーク（隠れキリシタンの里）
- 木工体験（1学年奈留実践）
- アフリカでのHIV感染症・AIDS医療について
- 奈留実践「奈留さくら保育所」（1年生）
- 奈留実践講話（2年生）
- トランセクトウォーク（1年生）
- トランセクトウォーク（2年生）
- トランセクトウォーク事前学習
- シゴトフェス事前授業
- 奈留実践 九電みらいエナジー
- 【奈留実践】多賀真珠講話
- 【奈留実践】3年観光班フィールドワーク
- 【奈留実践】五島市振興局水産普及センター
- 【奈留実践】3年生の班別活動スタート！！！！
- 【奈留実践】鎮西学院大学 加藤先生に講演していただきました
- 大学生との交流会（奈留高座談会）を実施しました
- 【奈留実践】なるの里 生田施設長に講演していただきました

長崎県教育委員会

<https://www2.news.ed.jp/bunrui/syokukai/tokusyoku/70550soutan/>

ご清聴ありがとうございました。